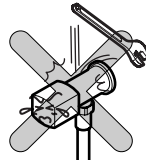
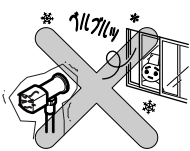
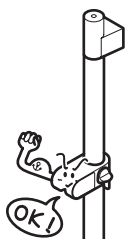
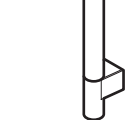
施工説明書

TOTO

スライドバー付きハンドシャワー　TBXS19型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。この施工・取扱説明書は大切に保存しておいてください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止	**給湯温度は85℃より高温で使用しない** 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	スライドバーを手すり替わりに使用したり、ぶら下がったりしない スライドバーや取付部の壁が破損し、けがをするおそれがあります。	
必ず実行	**外れたり、ガタが生じないように強固に取り付ける** 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。	
	取り付け完了後、スライドバーにガタツキがないことを確認する スライドバーにガタツキがあると、スライドバーが外れたり、壁が破損してけがをするおそれがあります。	

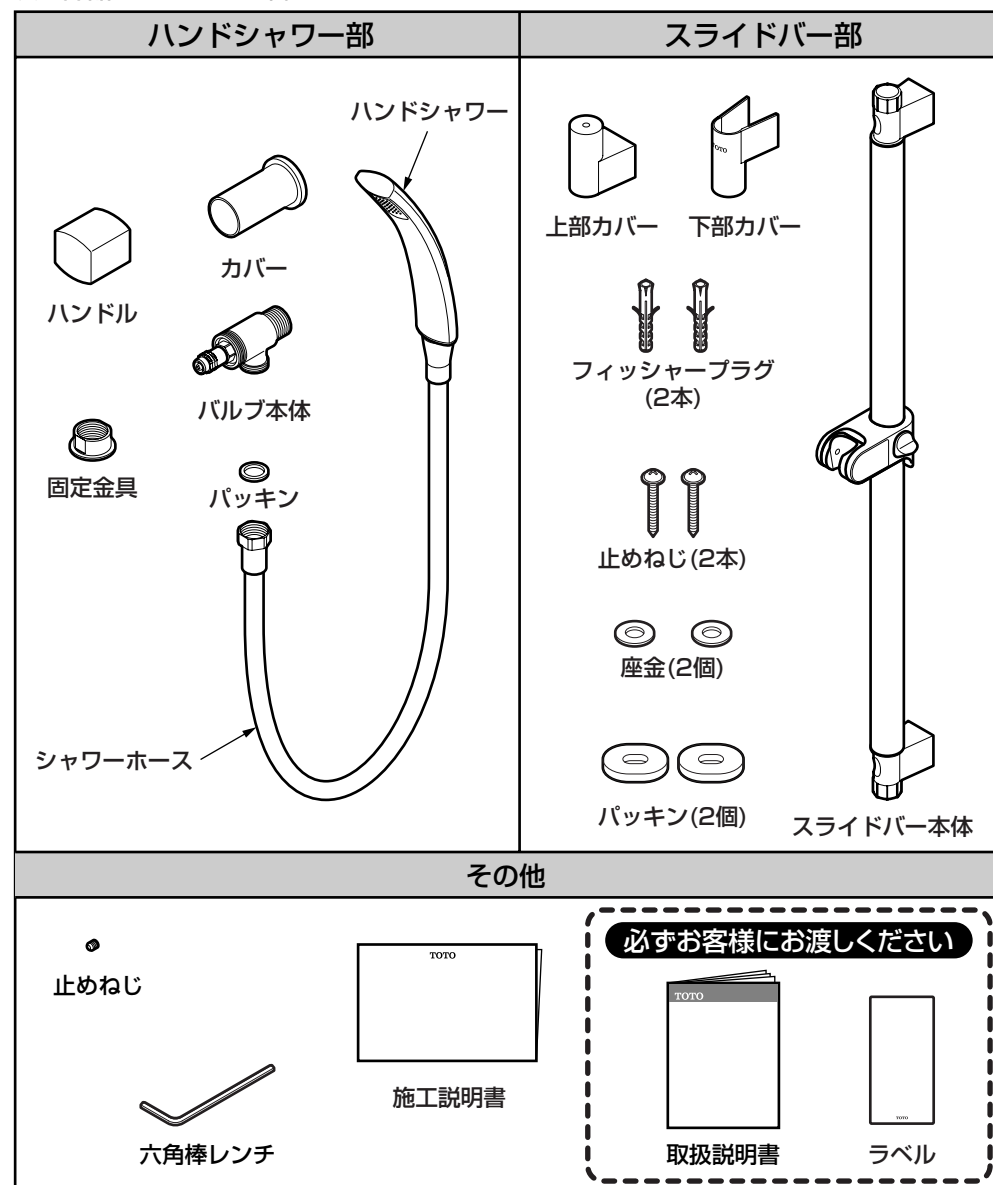
2 仕様

項目		仕様
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用　　途		パブリックおよび一般住宅浴室用

3 取り付け前に

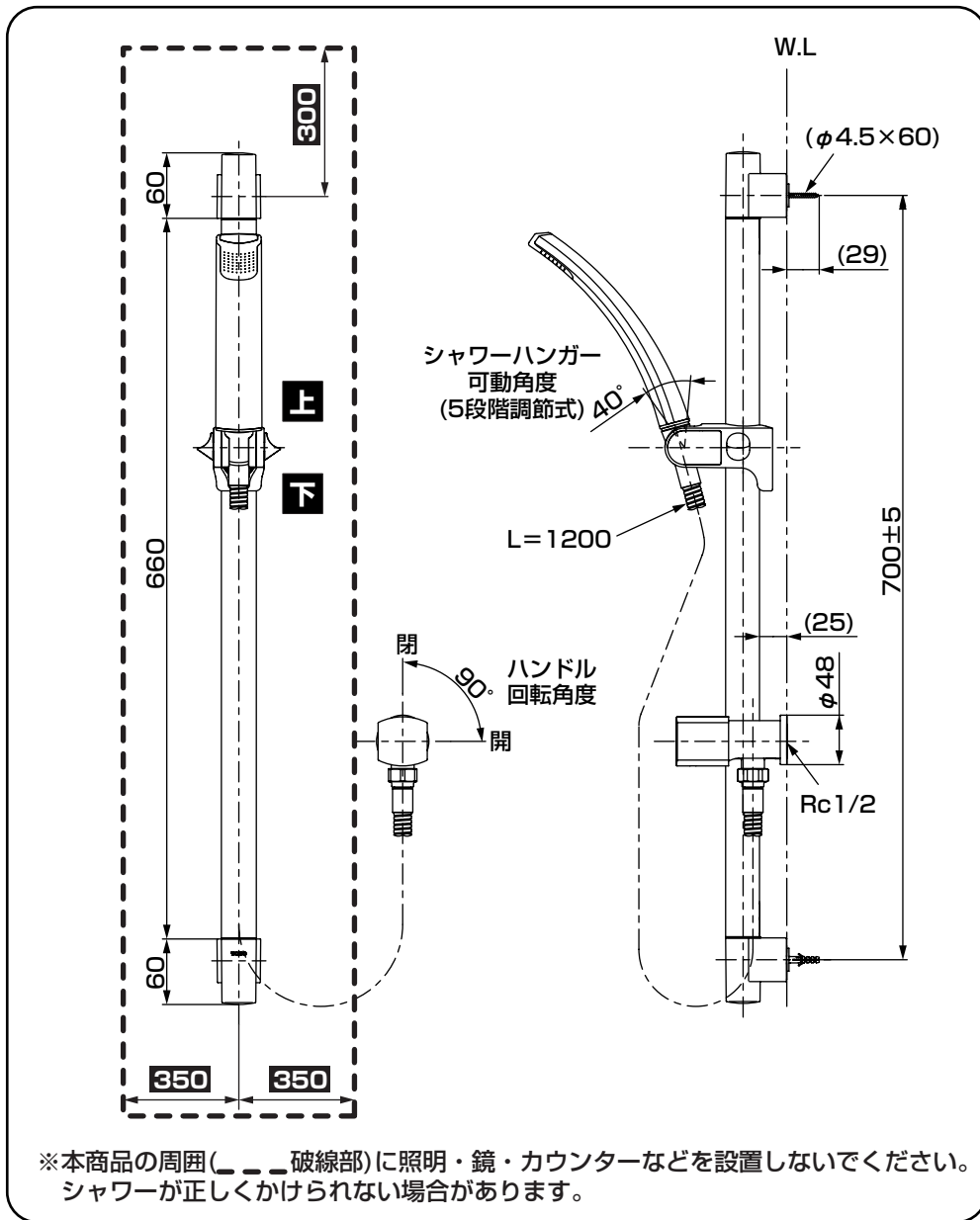
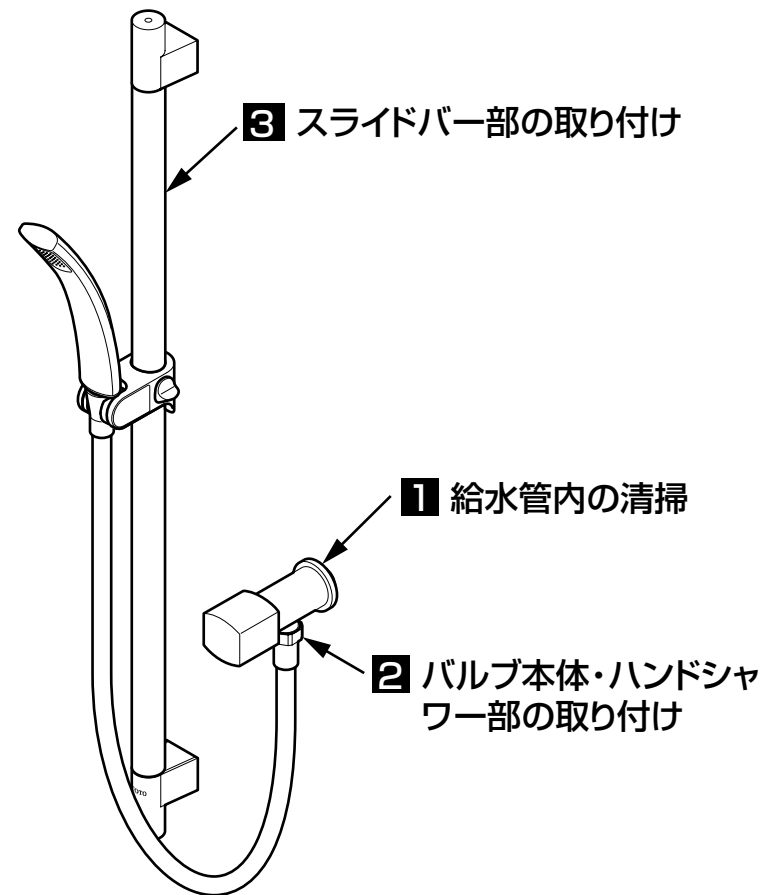
- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
  快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- ●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
  また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- ●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※本商品の周囲(破線部)に照明・鏡・カウンターなどを設置しないでください。
シャワーが正しくかけられない場合があります。

6-1 施工手順

1 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

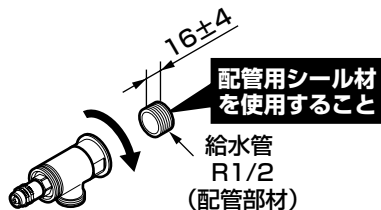
2 バルブ本体・ハンドシャワー部の取り付け

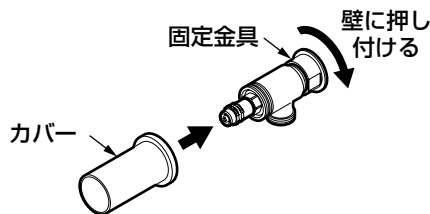
①バルブ本体に固定金具をねじ込む。

②バルブ本体を給水管にねじ込む。

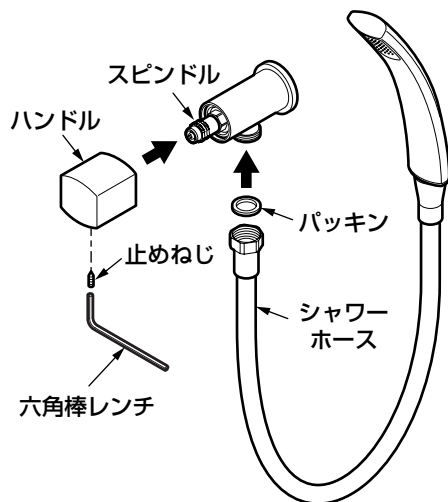
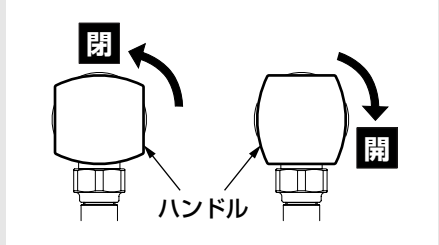
注 意

●接続には、市販品の配管部材を別途手配してください。

●接続箇所には、必ず配管用シール材を使用してください。

③固定金具を回し、壁に押し付ける。

④カバーをバルブ本体に差し込む。

⑤ハンドルをスピンドル部に差し込み、六角棒レンチを使用して止めねじで固定する。

注 意

ハンドル操作をしたとき、ハンドルが下図の位置になるように取り付けてください。

⑥シャワーホースを取り付ける。

3 スライドバーの取り付け

①スライドバーの取付位置を決め、下穴を開ける。(下穴径 φ3.5～φ4)

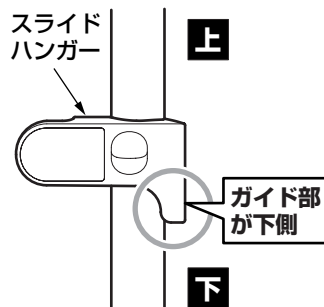
注 意

＜壁面がタイル・コンクリートなどの場合＞
取付位置に同梱のフィッシャープラグを打ち込んでください。
(ドリル径 φ6)

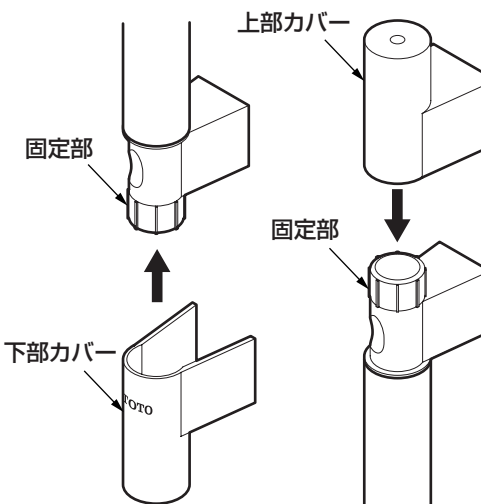
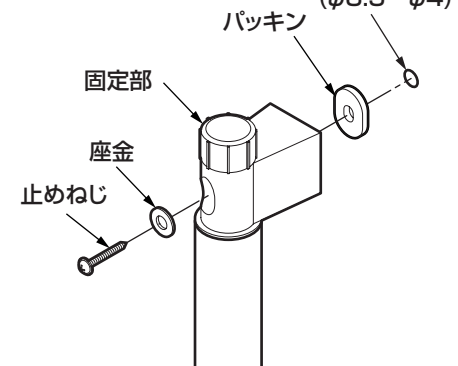
②パッキンを固定部に貼る。(2カ所)

③座金を通した止めねじで壁に固定部を固定する。

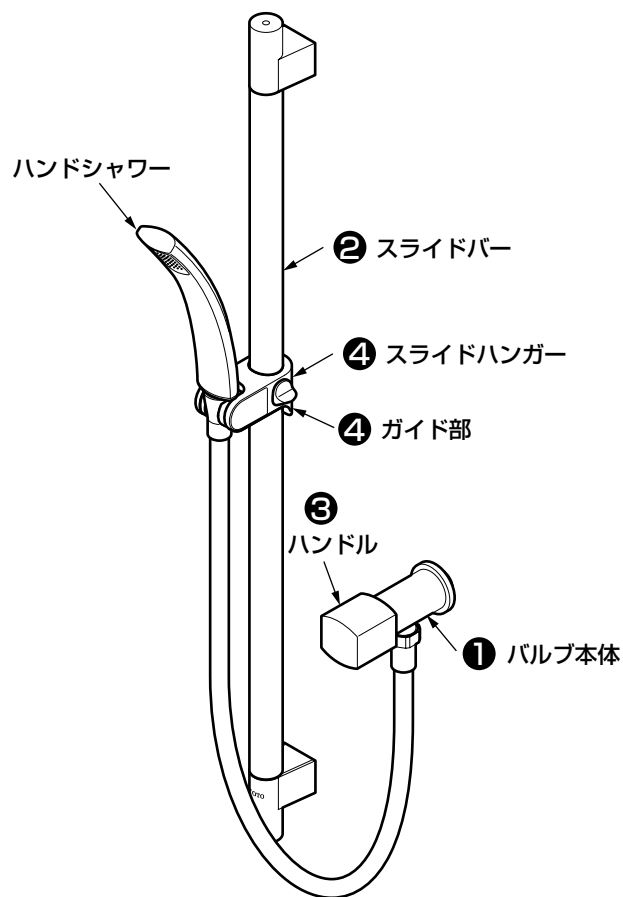
注 意

スライドバー本体の上下方向を間違わないように注意してください。

④固定部にカバーを差し込む。(上下共)

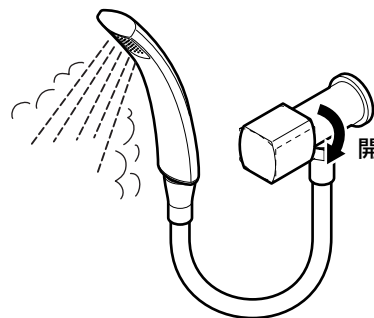
注 意

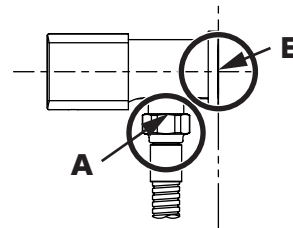
カバーの上下を間違わないように注意してください。
(TOTOマーク付きのカバーが下部)

次頁へつづく

7 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

シャワーヘッドの角度によっては、水を止めたときに水たれする場合があります。
その場合は、角度を調節してください。

水出し確認

配管部の元栓を開け、シャワーから水が出るか確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

Aから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶ バルブ本体のゆるみはないですか？

→ 6-2 ー 2「バルブ本体・ハンドシャワー部の取り付け」参照

❷ スライドバーのゆるみはないですか？

→ 6-2 ー 3「スライドバー部の取り付け」参照

取付方向の確認

ハンドルやスライドハンガーの向きが合っているか確認してください。

❸ ハンドルの向きは合っていますか？

→ 6-2 ー 2「バルブ本体・ハンドシャワー部の取り付け」参照

❹ スライドハンガーのガイド部が下側になっていますか？

→ 6-2 ー 3「スライドバー部の取り付け」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。